

## 研究プロジェクト4 「立教中学校関係資料研究」

舟橋 正真

本年度は、前年度に引き続き、研究会を開催し、「立教中学校教務日誌」（以下、「教務日誌」）の検討を中心に研究を進めた。

第一に、第二八回研究会では、「教務日誌」一九四九年度分の読み合わせを行った。立教学院の小・中・高・大の「一貫教育」始動という点に着目し、「教務日誌」にみる中学校の動向だけでなく、学院と各校との関係についても検討を試みた。その際、学院や中学校の沿革史の成果と課題を踏まえ、すでに検討済みの「週会記録」（職員会議録）を利用することにより、同日誌に史料批判を加えた。今後も立教学院のなかの中学校の位置、各校との関係性についての検討を進めたい。

第二に、先述以外の研究会では、総じて本誌『立教学院史研究』に掲載予定の「教務日誌」の検討を行った。そのなかでは、解題の内容、史料の掲載範囲、個人情報、注記の内容、教職員一覧表の作成、写真資料の選定など種々議論を重ねた。その結果として、本年度は、本プロジェクト初の試みということもあり、まずは「教務

日誌」一九四一年度分を掲載し、残りの年度は次年度に検討することに決定した。また、解題や注記などは本プロジェクト研究員（センター員）による分担執筆とし、全体の編集は事務局（筆者）が担当した。

以上の成果については、「〈史料紹介〉戦時下の立教中学校『教務日誌』（一）——一九四一（昭和一六）年度——」と題し、本号に掲載した。なお、「教務日誌」の掲載にあたっては、同日誌を所蔵する立教池袋中学校・高等学校および同校史料室担当の原真也先生にご協力いただいた。この場を借りて感謝申し上げたい。

本年度開催の研究会は、以下の通りである。

- 第二六回研究会（四月二四日）
- 第二七回研究会（五月二九日）
- 第二八回研究会（六月一九日）
- 第二九回研究会（七月三十一日）
- 第三〇回研究会（九月二二日）
- 第三一回研究会（一一月一六日）

このほか、立教池袋中学校・高等学校史料室所蔵の旧制・新制資料群の調査、および海城中学・高等学校所蔵資料や青山学院資料センター所蔵資料の調査などを進めている。

次年度以降も本プロジェクト研究を推進し、立教学院一五〇年史の編纂に向けた調査・研究に努めたい。